

山形県立荒砥高等学校同窓会

関 東 支 部



支 部 報

令和6年8月

発 行：山形県立荒砥高等学校同窓会 関東支部

事務局：〒 359-1141 埼玉県所沢市小手指町1-7-C-605 長谷部誠方 TEL.04-2939-2606

スクールカラー・紫



母校「文部科学大臣

表彰の名誉」

荒砥高校同窓会 関東支部  
支部長 別府 忠雄  
(昭和34年度卒)



4月23日には、国立オリンピック記念青少年総合センターで表彰式が行われました。関東支部からは山川昭雄副支部長が出席しました。この輝かしい業績が荒砥生一人一人の誇りとなり、それが更なる母校の発展につながることを信じております。

また、今年は新入生を24名迎えることができました。しかし白鷹町は、少子化対策として1年次から3年次まで、それぞれの実情にあった金銭的な支援を致しております。我々関東支部も一致団結して、母校への応援の輪を広げて行きましょう。

2024年8月

役 員 名 簿

2024年

(関東支部役員)

|      |       |          |
|------|-------|----------|
| 支部長  | 別府 忠雄 | 昭和三十四年度卒 |
| 副支部長 | 守屋 一郎 | 昭和四十九年度卒 |
| 副支部長 | 山川 昭雄 | 昭和五十年年度卒 |
| 事務局長 | 長谷部 誠 | 昭和五十年年度卒 |
| 会 計  | 長谷部 誠 |          |
| 幹 事  | 風戸 強  | 昭和四十四年度卒 |
|      | 梅津 好春 | 昭和四十七年度卒 |
| 会計監査 | 空 席   |          |
| 相談役  | 沼澤今朝夫 | 昭和二十六年度卒 |
|      | 新保与四雄 | 昭和二十六年度卒 |
|      | 宮城 文并 | 昭和三十年度卒  |
|      | 大金 民子 | 昭和三十一年度卒 |
|      | 紺野 邦夫 | 昭和三十三年度卒 |
| 参 与  | 荒川 繁夫 | 昭和二十九年度卒 |
|      | 安孫子健一 | 昭和三十四年度卒 |

荒砥高校同窓会関東支部 2023年度決算報告書

自2023年4月1日～  
至2024年3月31日(単位：円)

| 収 入            |           | 支 出                 |           |
|----------------|-----------|---------------------|-----------|
| 前期繰越金          | 745,962   | 総 会 費               | 209,980   |
| 振込寄付金 (80名)    | 415,000   | 会 議 費               | 17,035    |
| 総会費 (25名)      | 208,000   | 印 刷 費 (支部発行・振込用紙・他) | 385,176   |
| 寄 付            | 23,000    | 通 信 費 (支部報発送、その他)   | 60,895    |
| 広 告 (名刺7口)     | 10,000    | 交 通 費               | 65,600    |
| 雑収入 (預金利子・その他) | 4         | その他・雑費              | 10,440    |
|                | 0         | 寄付金振込振込手数料          | 17,083    |
|                | 0         | 役員報酬                | 60,000    |
|                |           | 支出合計                | 826,209   |
| 合 計            | 1,401,966 | 繰越金                 | 575,757   |
|                |           | 合 計                 | 1,401,966 |
|                |           | 未払い費用               | -10,000   |
|                |           | 預金通帳                | 582,980   |
|                |           | 手持ち現金               | 2,777     |
|                |           | 次期繰越金               | 575,757   |

上記の通り相違ない事を報告いたします。  
2024.3.31

会計：長 谷 部 誠 (印)

荒砥高校同窓会 関東支部 2023年度会計監査報告報告書

上記決算書について、帳簿諸表等を監査いたしました結果、全て適正に  
処理されている事を認めます。  
2024.4.19

会計監査 別 府 忠 雄 (印)

会計監査 (印)

事務局だより

昨年は久々に総会を開くことが出来ました。ご出席いただいた皆様本当にありがとうございました。また、佐藤町長はじめ白鷹からも多くのの方々においでいただき、町や母校の様子をお話いただきました。お陰様で会も大変盛り上がりました。重ねて御礼申し上げます。こういった機会に際し、会の維持がいかに大事かを思い知らされたところです。今年も昨年と同じ喜山倶楽部にて総会・懇親会を予定しておりますので、皆さんお誘いあわせの上是非ご出席願います。

支部報と共に振込用紙を同封させていただきます。同窓会の活動は皆様方の寄付により成り立っております。2023年度は90名の皆様から総額42万円の寄付をいただきました。会の維持のためにも少しでも多くのご協力金をお願い申し上げます。(長谷部誠)

◆編集後記◆

支部報作成にあたり、石田新校長をはじめ多くの関係者、同窓生の皆様のご協力を得、本年度も無事皆様にお届けする事ができました。寄稿にご協力頂きました皆様方に厚くお礼申し上げます。

今後も更に母校を取り巻く環境のことや生徒達の活動・活躍など、又幅広い同窓生の「声」をお届けさせて頂ければと考えております。そしてこの支部報が年一回故郷や母校を思い懐かしんで頂くツールとして少しでもお役に立てれば幸いです。引き続き皆様方のご支援・ご協力の程宜しくお願い致します。

今年度の総会は10/5(土)に開催です。1人でも多くの同窓生の方々とお会いできますことを楽しみにしております。(山川昭雄)



## 「荒砥高校が文科大臣表彰をいただきました」

山形県立荒砥高等学校  
校長 石田 充

荒砥高校同窓会関東支部の皆様方、はじめまして。4月より校長として赴任いたしました、石田充と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

まずもって、皆様方には、本校教育活動に対し多大なるご理解とご支援を賜っておりますこと、深く感謝申し上げます。母校荒砥高校は、4月8日の入学式において、新たに24名の新入生を迎え、全校生71名で令和6年度をスタートし、5月8日に創立76周年を迎えました。1学年1学級の小規模校ですが、吹奏楽部員の朝練の素敵な音色から始まり、現在は午後から6月13日のスポーツ祭で行われるソーラン節の練習に明け暮れる元気な学校です。

さて、荒砥高校は、4月23日に「令和6年度子供の読書活動優秀実践校」として文部科学大臣より表彰をいただきました。この賞は、本校図書委員会がボランティア活動として白鷹町と連携し、町立図書館において幼児等に絵本の読み聞かせを、実に23年間継続して行っていたことが評価されたものであります。関東支部の皆様の中にもこの読み聞かせをして

くださった方がいらっしゃることを存じます。こういった積み重ねのおかげと心よりお礼申し上げます。

東京の代々木で行われた表彰式には、関東支部副支部長の山川昭雄様も祝いに駆けつけてくださり、喜びを分かち合ったところであります。

このような地道な活動を含め、白鷹町の多大なるご支援を受けながら、生徒たち、その保護者の皆様、地域の皆様、同窓生の皆様からさらに必要とされ愛される高校となるよう、職員一同全力で教育活動に取り組んでまいります。

今後も引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



## 関東支部の皆様へ

荒砥高等学校魅力化コーディネーター  
山川 英俊

日頃より、関東支部の皆様には多くのご支援を賜り、心より感謝申し上げます。昨年引き続き機会をいただきましたので、新たな取り組みについてお伝えしたいと思います。

ご承知のように、白鷹町からの様々なご支援のもと、荒砥高校魅力化が推進されていますが、今年度より県の新たな取り組みが始まりました。それは、県教育センターからの遠隔授業です。本校が受信校となり、1か月間の試行を重ねている段階ですが、これが実現すると小さな学校でも多様な科目を受講できるようになります。生徒のニーズに応えるオンライン授業やコンテンツ等の整備を進めることで、小規模校の良さに加え幅広く学べる環境ができればということですが、荒砥高校の可能性が大きく広がります。統廃合はやむなしとするのではなく、デジタル時代ならではの機器を活用し、小規模校の学びを支えようとする県の取り組みに、大いに期待しているところです。さて、「入学したくなる学校」を目標として始まった魅力化事業ですが、一方に



## 関東支部の皆様へ

荒砥高等学校同窓会  
会長 青木 彰 榮  
(昭和47年度卒)



同窓会関東支部の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、同窓会活動にご尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年10月に開催された関東支部の総会・懇親会に本会から私を含め3名の役員で参加させていただきました。初めてでしたので戸惑うこともありましたが、関東支部の役員体制がらりと変わられた初めての総会で、役員の皆様の熱意と参加された方々の母校への思いを感じさせていただきました。今後也有着実な歩みを進めていただきますようご期待申し上げます。

今年4月に荒砥高校を卒業し白鷹町役場に採用されたS君がいます。職場ではてきばきと窓口業務をこなし、地域では消防団にも入団しているとのこと。このようなお話をお聞きますと、地元に残る若者が少ない中でこのような同窓生がおられることを頼もしく思います。そのような意味においても荒砥高校の存在意義があるのではないかと考えています。



## 荒砥高等学校後援会の紹介とご支援のお願い

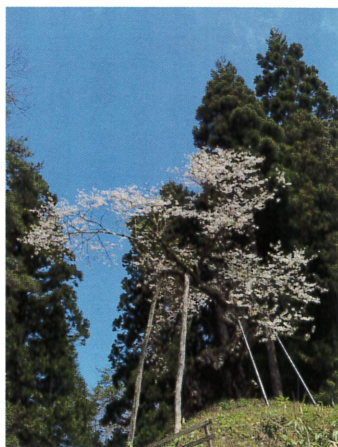
山形県立荒砥高等学校後援会  
会長 沼澤 政 幸



今年度も寄稿の機会を頂戴しましたので、荒砥高等学校後援会の紹介とご支援のお願いをさせていただきます。

本会は、普通会員(保護者)と特別会員(法人・個人・教職員)で構成され、それぞれ普通会費、特別会費をご支援いただいております。普通会員は12,000円。特別会員については、法人会員は一口(10,000円)とし、一口以上、個人会員は一口(5,000円)とし、一口以上のご支援をお願いしています。令和5年度は、普通会費と特別会費合わせて1,966,220円ものご支援を頂戴しました。本当にありがたく、学校経営に大きく寄与いたしました。

『支部報』の紙面を借りてはなはだ恐縮ですが、また本会員になられていない荒砥高等学校同窓会関東支部の皆様方にご支援をお願いしたいと思います。荒砥高等学校の今後更なる飛躍のため、後援会の趣旨「教育活動全般を支援し、その発展と充実を図ることを目的とする」に御賛同いただき、後援会会員としてご支援ご協力を賜りたいと存じます。出費





## 今 都市間交流 ―袖すり合うのも多生の縁―

一般社団法人白鷹町観光協会  
会長 小関 吉郎

雪の少ない冬が過ぎ、古典桜が咲く春の訪れは、去年ほど早くはなかったものの、4月13日の高玉芝居の上演は、満開の桜の下で行われ、大変賑わいました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。

私達は、町内でイベントを開催するほか、ご縁をいただいている都市の物産展に伺うなどして交流を深めています。昨年交流50周年を迎えた新潟県長岡市栃尾地域（旧栃尾市）、鮎貝様のご縁の宮城県気仙沼市、「鷹のつくまち」東京都三鷹市、神奈川県海老名市、埼玉県桶川市、更に、紅（あか）の日本一と青（藍）の日本一

の交流徳島県上板町、桜の里静岡県河津町、紅花の里沖縄県多良間村などです。各地のイベントに何度か伺っていると、親しくお声がけいただくようになります。玉こん煮やいも煮「おしよしな」のお国言葉に「懐かしい」と言われる方も。大雨の被害など災害情報を聞き「大丈夫か」と。こちららもご縁をいただいている地域のお天気が気になってきます。「今度行ってみるからね」という言葉のありがたいこと。

さて、首都圏にお住いの町出身の方々に組織している「首都圏白鷹会」があります。毎年11月に総会をされており、今年11月30日、第46回総会を予定されています。当協会では町産品をたくさん持って出かけます。ゆべしやまんじゅう、みそ餅やおみ漬、青菜漬、白鷹納豆などは大人気。鯉の甘露煮、地酒などなど、懐かしい味をお届けします。故郷訪問などもされていますので、ぜひご加入いただければと思います。

少子化、人口減少に歯止めがかけられない現状ですが、「袖すり合うのも多生の縁」全国に交流人口を増やす取り組みを行ってまいりますので、是非ともご支援賜りますよう、お願いいたします。

結びになりますが、荒砥高校同窓会関東支部の益々のご発展と、皆さまのご健勝を心からご祈念申し上げます。



## 両会の窮状 打破の為に



首都圏白鷹会  
会長  
布 川 文 一

荒高同窓会関東支部の皆様お世話になってます。

首都圏白鷹会の会長を仰せつかってます。首都圏出身の布川文一といます。去年の首都圏白鷹会総会に、副支部長の山川さんと事務局長の長谷部さんに出席を頂き、引き続き会員登録をさせていただきました。自分は今回初めて書面で貴会にご挨拶申し上げますが、実際はもっと身近な関係の筈であったのに……。と言うのは貴会の現会長『別府忠雄画伯』は首都圏白鷹会の副会長、前会長の菅野さんは荒砥地区幹事でしたし、沼沢今朝雄さん、宮城文井さん…名前を挙げればお知り合いの方がまだまだおられると思いますが、なぜ今まで会同志が親密な交流をしていないのだらうと思います。

荒高は町内で唯一校の公立高校であり、他地区の高校に通学した方も少なくとも17、18歳迄は白鷹町で育った訳で、育った根っこは同じだと思います。首都

圏白鷹会は昭和53年に29名で設立、平成14年〜21年頃は600名以上の大所帯だったようです。現在の会員数は250名位で時々退会と死亡の連絡が来て、確実に会員数の減少が続いています。会員の自然増はとも望めません。荒高同窓会も、会員数の減少問題については決定的な解決策もなく、悩んでいることを聞き及んでおります。この問題は両者とも共通のようですのでタッグを組んで努力しようではありませんか。大それたことはできないにしても、会員獲得のためにお互い紹介し合う位ぐらいのことは出来る筈です。

ふる里会も同窓会も難しい話は抜きにして、生まれ故郷の言葉で、懐かしい昔話ができれば、精神的にリラックスできます。よく言えば育ててもらった地域、あるいは母校に何らかの形で恩返しできれば最高と思います。

繰り返しになるかもしれませんが、荒校同窓会も首都圏白鷹会も会員の高齢化による会員数減少問題は共通です。協力しあえることは協力し、お互いの会の存続に努めようではありませんか。

### 首都圏白鷹会連絡先

首都圏白鷹会事務局  
〒263-0004 千葉市稲毛区  
小仲台8-10-3 604  
事務局 紺野 信義  
TEL・FAX 043-(284)-8691

## 故郷に思うこと

竹内 容子

（旧姓 鈴木）

（昭和50年度卒）

18歳で専門学校に入るために横浜に出て50年弱。横浜は緑も多く、海もあり、住みやすい所だと思っています。ただ山形で過ごした18年間は私にとって大切なものを育ててくれた時間だったと感じています。

実家は緑豊かで四方を山に囲まれていました。庭から朝日岳など山々の奇麗な稜線が遠くに見え、四季の変化を日々感じる事が出来ました。春は雪解けと芽吹き、そして椿、桃、桜などの花が一斉に咲き乱れ、多くの花々が私に活力をくれました。夏は満天の星が夜空を埋め尽くし、秋には家の前に広がる田畑や山々が緑、赤、黄色に染まり、絵ハガキの世界にいたようでした。冬は厳しい寒さの中で辛かった思い出が強く残っています。しかし、その中でも一面の雪景色と月に照らされた雪原。それは小さな宝石を散りばめたようなキラキラした光景で、今でも鮮明に覚えています。今思い起こせば、厳しい面も多くありました。が、なんと贅沢な自然環境の中にいた日々だったのだらうと思います。

今でも木々の中に身を置くことや草花を眺めることが私にとって大事な時間です。そして山形で過ごした日々を思いを

## 小さい頃の夢

岡本 厚子

（旧姓 小川）

（昭和50年度卒）



中山からの紅花畑と西山

縁あってこの原稿依頼を受け、ちょっと躊躇したのですが、自分が続けてきた仕事を振り返ってみるのもいいかなと書かせていただきました。

私は小さい頃から「保母さん」になるのが夢で、荒砥高校を卒業後千葉の専門学校を経て、八千代市立の保育園と児童発達支援センターで39年間務め、退職した今もセンターのバス添乗員として働いています。私にはこれまでの保育人生の中で、「師」と仰ぐ人が2人います。1人目は小さい頃通っていた「萩野保育所」の先生です。私はあまり昼寝が好き



旧鷹山中跡地

ではなく、いつも眠れずモゾモゾ…。そんな時先生がそっと「おいで!!」と先生方のお買い物に連れて行ってくれたのです。道中のことは忘れてしまったのですが、アイスを買って来てくれたり笑いながら「ないしょね♡」私もこんな先生になりたい!!と思ったのを覚えています。

2人目は保育士1年目に出会った隣のクラスの先生です。よくありがちな「○○しなさい!」「○○しちゃダメでしょ!」の否定語や禁止語は一切ありません。どうやって子供達から「やりたい!」の気持ちを引き出せるのか!?どうやって子供たちがまちがった事に気づいてくれるのか!?…その考え方と手腕は見事なものでした。1つでもその方法を盗みたくてつきまどった(笑)事を覚えています。

そして障害を抱えた親御さんとの出会いは偶然ではなく必然だったと思っています。2人の師に教えてもらった事は保育(療育)の原点であることを実感しています。

荒砥出身 昭和五十年年度卒  
長谷部 誠  
埼玉県所沢市小手指町一七 C一六〇五

中山出身 昭和五十年年度卒  
山川 昭雄  
神奈川県川崎市高津区宇奈根六三九一〇三

十王出身 昭和四十九年度卒  
守屋 一郎  
千葉県船橋市二和東五五三一

東根出身 昭和四十七年度卒  
梅津 好春  
東京都大田区西蒲田三一九一二一

鮎貝出身 昭和四十四年度卒  
風戸 強  
日本音楽著作権協会正会員  
我孫子市泉三八一三〇七

十王出身 昭和三十四年度卒  
別府 忠雄  
茨城県牛久市牛久町三一六九一三



## 荒砥高校の魅力 （隣の校舎の中学生及び 勤務した教員の思い出）

長谷部 茂  
（元荒砥高等学校教師）

「おそろかに青春を楽しくむ若者かな！  
荒砥高校に体育の教師として勤務し、  
尚且つ中学時代に隣にあった荒砥中学校  
に在学し眺めた荒砥高校を思うとき、そ  
んな思いが浮かんでくる。」

本道のノスタルジックな荒砥駅から緩  
やかな坂を上った稲荷台にある校舎。学  
校の後ろのグラウンドからは、大きくそ  
びえる朝日連峰が見え、眼下には最上川  
と長井線の鉄橋が見える。なんとも豊か  
な景色にゆったりした毎日を過ごすこと  
ができた。晩秋のグラウンドで赤とんぼ  
がわさわさと飛び回る中でのサッカーの  
授業も楽しかった。最上川の流れを見な



がら堤防を走り、リング畑の中を回り最  
後に坂道を登ってグラウンドに帰ってく  
るマラソン大会。上位入賞を狙って生徒  
に負けずに懸命に走った。まさに自然の  
中を走り切った。玄関の大きな松の木の  
下を掃除しながら、登校してくる生徒た  
ち「おはよう」「おはようございます」  
のさわやかな挨拶。  
そんな環境の中で町の人たちから「荒  
高生」「荒高生」とかわいがられて勉強  
している若者たち。  
私が隣の中学校の生徒のころ、女子バ  
スケット部と時々練習試合をしていた。  
ほとんど負けたが、たまに勝つと高校生  
には厳しいメニューが追加され、ちょっ  
とかわいそうだった。陸上部が駅から学  
校までの坂道でダッシュを繰り返してい  
たことも覚えている。  
なんともさわやかな荒砥高校の若者た  
ち。

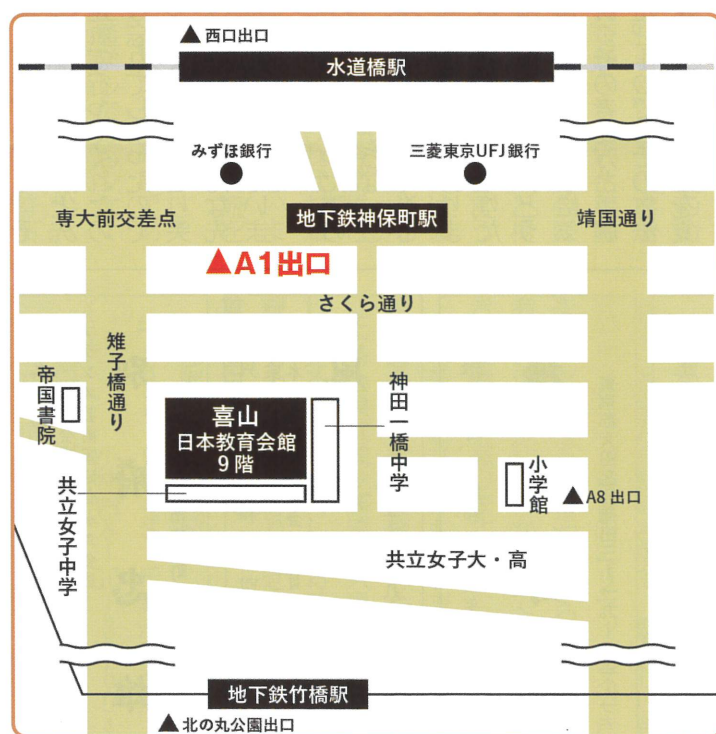


## 荒高同窓会関東支部 総会・懇親会のご案内

日時.. 10月5日(土) 11:00～14:00  
場所.. 喜山倶楽部「芙蓉の間」

東京都千代田区一ツ橋2-6-2  
日本教育会館9階  
電話番号 03-3262-7661

会費.. 8,000円



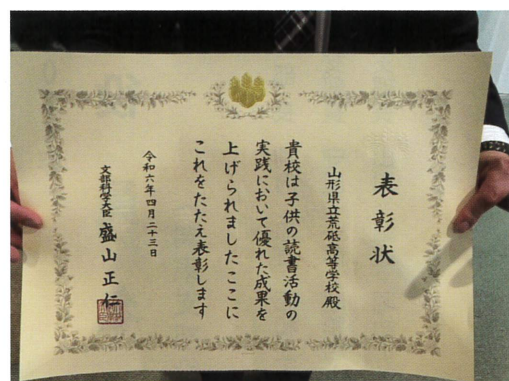
## 「文部科学大臣賞」受賞！

山川 昭雄  
（昭和50年度卒）

皆さん、母校からの吉報です！ この度母校荒高  
が文部科学大臣賞を受賞しました！（文科省ではH  
14年度から子供たちの積極的な読書活動の推進の  
為、特色ある優れた実践を行っている幼稚園から  
小・中・高、各団体等に対して大臣表彰を行ってい  
ます）

長きにわたり荒高と町図書館の活動「読み聞かせ  
会」の活動が高く評価され今回の優秀実践校に選ば  
れました。

今春4月23日に渋谷区代々木オリンピック記念青  
少年センターにて表彰式が行われ、石田 充新校長  
と同窓会から私が出席させて頂きました。添付の写

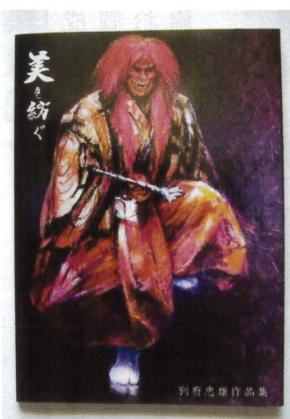


真は授賞式のものです。  
現役生徒達も先生方も地元関係者の方々も「小規  
模ながらも魅力ある学校づくり」のあらわれとして  
とてもうれしく、誇らしく思っております。この快  
挙に皆さんで拍手を送りましょう！

私、去る6月に帰省し母校におじゃましました。  
その際玄関脇で何の授業か分りませんが（笑）数  
人の生徒達と先生が「土いじり」をしていました  
（田植えか畑の土づくりかな？）ちょっとすれ違っ  
ただけでしたが、皆高校生らしく明るく元気な挨拶  
をしていただき、また「土いじり」の授業？を笑顔  
で楽しそうに行なっている姿と遭遇し何かホッコリと  
なり清々しい気持ちで学校を後にしてきました。  
後輩達よ！ 荒砥高校独自の特色を充分発揮し、  
今後も充実した実りある高校生活を送ってほしい！  
と改めて思った次第です。

## トピックス

■画家の別府忠雄氏が長年の画業の集大成でもある作品集「美  
を紡ぐ」を出版。  
富士山、舞妓、姫路城、花、ベネツィア、パリ等々、別府氏  
が迫及した素晴らしい美の世界が広がります。  
また、11月2日(土)  
～9日(日)まで白鷹  
町文化交流センター  
「あゆむ」におい  
て作品集の一部を含  
めた個展を開催しま  
す。



■白鷹女性コーラス「さくら」の創立50周年を記念して、作詞  
家 風戸強氏が「さくら」のテーマ・ソング「愛のハーモ  
ニー」を作詞。（作曲 上坂真理子氏）おしゃれで素敵な合  
唱曲になりました。

白鷹女声コーラスさくら  
創立50周年記念テーマソング  
愛のハーモニー

作詞・風戸 強 真理子  
作曲・神坂 真理子

一、コーラス 桜の花が  
コーラス きれいに咲きました  
ほら 青空 ピンクの花びら  
ラララ シャラララ  
水面に ゆれてる……  
今 風と歌う 愛のハーモニー  
そっと芽生える 明日の夢  
コーラス 「さくら」の歌を  
コーラス あなたに届きたい

二、コーラス 桜の花が  
コーラス 幸せ呼びました  
ああ 残雪 桜の薫り  
ラララ シャラララ  
素敵な ふるさと……  
今 風と歌う 愛のハーモニー  
きつとつながる 歓びが  
コーラス 「さくら」の歌を  
コーラス あなたに届きたい

日本音楽著作権協会(出)許諾第2405115-401

